

高き志【こころざし】

地域とともにある

勢いのある学校

No. 35 (R4. 2. 7発行) 文責 校長 福田雅也

凡事徹底～あたりまえのことをあたりまえに～

今年の第100回全国高校サッカー選手権大会決勝は、熊本県民が大いに盛り上がりました。熊本県立大津高等学校が決勝戦に進んだからです。結果は、超高校級の選手を擁する青森山田高校に完敗してしまいましたが、地方の小さな公立学校である大津高校イレブンの、最後まであきらめない姿は見ていた人の心を揺さぶりました。私もテレビの前で最後まで応援し続けました。

また、先日行われたカタールワールドカップのアジア最終予選、中国・サウジアラビア戦に、センターバックとして先発フル出場し、活躍した谷口彰悟選手、彼はその大津高校出身です。さらに、今回出場機会はありませんでしたが、代表メンバーに選ばれていた植田直通選手も大津高校出身であることはご存知の方も多いかと思いますが。日本代表メンバーに同じ高校から選ばれているのはこの二人だけです。二人の他にも、大津高校出身のJリーガーは50名以上になるそうです。加えて、大津高校サッカー一部出身の元日本代表、巻誠一郎選手が、熊本地震や熊本豪雨の被災地支援活動に熱心に取り組んでいたことはご存知のことと思います。大津高校サッカー一部出身者が指導者として様々なところで活躍していることも良く知られています。

このように、まだ全国制覇はできていないものの、人材育成という点では素晴らしい実績があるのが大津高校サッカー部です。

標題の「凡事徹底～あたりまえのことを あたりまえに～」…これは、その大津高校サッカー部「平岡和徳」総監督が部員のみならず大津高校生徒に示し続けてきたスローガンです。このスローガン、大津高校内の、全生徒が通る渡り廊下の外壁に大きな毛筆文字で掲げられています。この文字を書いたのも平岡総監督だそうです。どうやらこのスローガンが、人材育成に大きな成果を残している大津高校サッカー部の根底を支えているようなのです。

急に本校の話になりますが、実はこのスローガン、私が赴任してから三年間掲げている本校のスローガンと同じなのです。私がこれを決めたとき、平岡総監督のスローガンを知っていて決めたわけではありません。結果的にたまたま同じだったのです。同じスローガンを掲げていたので、平岡総監督のことを知りたいたとは思っていたものの、なかなかその機会がありませんでした。そこで、今回の決勝戦をきっかけに、平岡総監督のことが書かれている井芹貴志氏著の「凡事徹底」を読んでみることにしました。書かれている内容は、私が思っていたこととほぼ重なりました。平岡総監督がこのスローガンを部員たちに示した思いは、私がこのスローガンを本校の子どもたちに示した思いと見事に重なったのです。

大津高校サッカー部にはスローガンに加え、「大高サッカー部規則」というものがあるそうです。

- | | | | | |
|-----------|-----------|------|----------|------------|
| 1 あいさつの徹底 | 2 学校生活の充実 | 3 礼儀 | 4 ルールの厳守 | 5 正しい努力の継続 |
|-----------|-----------|------|----------|------------|

この五つです。サッカー部規則なのに、直接的にサッカーに関する内容は示されていません。特に前半の3つは、学校生活全体の中で高校生として当然身に付けなければいけない内容です。サッカーが上手くなる、チームが強くなる、そのためには部員一人一人がサッカー以前に、人としてやらなければいけないことがきちんとできないといけないという考え方でしょう。平岡総監督のことを端的に表した一文が書かれていました。それは「平岡和徳という人物の職業は教師であり、その仕事はサッカーを通した『人づくり』であるからだ。」…この文章です。

本校はスローガンに加え、実際の行動場面に落とした「四つのあ」というものを示しています。

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1 あいさつ | 2 あんぜん | 3 ありがとう | 4 あとしまつ |
|--------|--------|---------|---------|

この四つです。学校は学問を学ぶ場ですが、直接的に学習に関する内容は示していません。1年生でもできるような内容を示しています。しかし、どれも人として大切なことばかりです。学校が求められている大きな責務「学力向上」、これを目指すことは必要ですが、学力向上以前に、「あたりまえのことがあたりまえにできる」…そんな子どもたちを育てないといけないという考え方です。私は、「『凡事徹底』ができれば学力は後からついてくる」と、三年間、職員に話してきました。

先日、県学力調査の結果が戻ってきました。三年目にして初めて、学校全体の平均正答率が県・全国の平均正答率を共に上回りました。大津高校サッカー部ほどの大きな成果ではありませんが、本校が取り組んできた「凡事徹底」の成果かなと、子どもたちの頑張りを称えるとともに、ささやかな達成感と充実感を感じているところです。